

2009年6月12日

## 関係各位

6 / 1 1 上鷲宮小学校で田んぼに入らない田植をしました。東京家政大学生が新潟の農業体験を活かして、プレゼンと田植え指導で大騒ぎ！



### ○学生が5年生に米作りを伝える「食育の循環」！○

今年から田植えを手伝うことになった上鷲宮小学校は、5年生が2クラス80名。視聴覚室に集まり、幻の米「白藤プロジェクト」の5名の精鋭学生が生産者の阿部信行さんと、「お米の一年」と題して、現代の農業と昔ながらの農作業を比較しながら説明。

学生は「農業体験」とどまらず次の世代に繋げる「食育の循環」を実践しました。これから、社会にでて食育の道を目指す彼女達にとって素晴らしい経験となりました。



### ○「田んぼに入らない」130cmの長方形田んぼ○

上鷲宮小学校は、都会には珍しい緑の豊かな小学校です。その一角に農場があり、花壇を改造した細長い田んぼに、子供たちが田んぼに入らないで手を一杯に伸ばして一人2株ずつの田植え。身構えない普段着の田植え。お手軽な感覚でこんな田植えも「ありかな？」と思える大都会の形にとられない田植えでした。

ただ、残念なのは子供たちに「足で土の感触」を体験できなかったこと。靴を履いて踏む土の感触は全く違うからです。



### ○農林水産省関東農政局長一行が視察&田植え○

田植えには、皆川芳嗣関東農政局長、坂本里美消費生活課長ら5名が参加。子供たちと一緒に春陽の苗を丁寧に植えました。

農林水産省には、省庁を超えすべての子供たちに「農業体験」の機会を与えられる政策立案を期待します。





6 / 1 2 武蔵台小学校で9回目の田植え。  
泥んこ田植えに学生がタジタジ！  
照りつける太陽の下で元気一杯、育て稲！

昨日の雨模様のグズついた天候から一転、真夏並みの直射日光が降り注ぐ中田植えになりました。田植え2日目は、東京家政大学白藤プロジェクト第2期リーダーの岡本香さん（4年）、サブリーダー森本明子さん（4年）の2名が参加。2日連続参加の岡本さんは来週から始まる小学校の教育実習のプレ実習となりました。

### ○モンペスタイルでプレゼンテーション○



2日目のプレゼンは落ち着いて、子供たちの表情を見ながら質問を出したりする双方向のコミュニケーションができました。

説明を熱心に聞き入り、ノートをとる子供も多く、質疑応答も活発に行いました。

### ○泥・泥・泥！子供たちが大はしゃぎ○



大興奮の子供たちは、顔に泥を塗ったりしてハシャギまくり。あまりのパワーに圧倒されっぱなしでした。水を絶やすことなく稲の管理し、秋には稲刈りと収穫祭を目指し大切に育てよう！



校長先生の手「泥バック」 おませ4人組。大学生のお姉さんに興味津々 泥だらけになりながら体を張って田植え指導！エライ！

【 問い合わせ先：(有)エコ・ライス新潟 豊永有 】

TEL 0258-66-0446 FAX 0258-66-0447

携帯 090-6458-5535

e-mail [eco-net@nekonet.ne.jp](mailto:eco-net@nekonet.ne.jp) HP <http://www.rice-shirafuji.com>